

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	特別支援教育課程論						授業形態		講義	
科目コード	750140	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	川田 耕太郎								ICT活 用	
授業概要	特別支援学校における重複障害者等に関する教育課程の取扱いや特別支援学校（知的障害）の教育課程の二重構造、教育の内容の選択・組織の考え方、個別の指導計画との関連で計画する単元・題材の指導計画、1単位時間の授業計画の在り方、並びにカリキュラム・マネジメントについて理解する。また、生活単元学習等の学習指導案（細案）の作成について理解する。 特別支援学校等での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら理解を図れるようにする。									
関連する科目	知的障害児教育									
授業の進め方 と方法	プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、ペアでの意見交換やグループによるディスカッションを行い、学生が自ら考えたり、他者との対話を通して思考を深める機会を設ける。									
授業計画 【第1回】	特別支援学校の教育 障害のある子どもへの教育と教育課程の意義、編成上の留意点									
授業計画 【第2回】	特別支援学校における教育課程の編成 重複障害者等に関する教育課程の取扱い 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第3回】	特別支援学校（知的障害）における教育課程 教育の内容と授業の形態の区別 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第4回】	特別支援学校（知的障害）における指導 知的障害のある子供の学習上の特性と教育的対応 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第5回】	特別支援学校（知的障害）の各教科等の指導と自立活動 個別の指導計画に基づく指導 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第6回】	カリキュラム・マネジメント 個別の指導計画と教育課程の評価・改善 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第7回】	授業づくり 教科別の指導における学習指導 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第8回】	各教科等を合わせた指導 日常生活の指導についての概要と授業例 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第9回】	各教科等を合わせた指導 遊びの指導についての概要と授業例 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									
授業計画 【第10回】	各教科等を合わせた指導 作業学習についての概要と授業例 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）									

授業計画 【第11回】	生活単元学習の授業づくり 生活単元学習の概要と活動内容設定の留意点 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業計画 【第12回】	生活単元学習の授業づくり 子どもの実態と単元の意義・価値、指導観 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題、指導案作成に取り組む（60分程度）
授業計画 【第13回】	生活単元学習の授業づくり 全体の指導目標と個別の指導目標設定 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題、指導案作成に取り組む（60分程度）
授業計画 【第14回】	生活単元学習の授業づくり 指導計画と各教科等の内容との関連 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題、指導案作成に取り組む（60分程度）
授業計画 【第15回】	生活単元学習の授業づくり 本時の計画・具体的な活動内容と手立て 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題、指導案作成に取り組む（60分程度）
授業の到達目標	1. 生きる力として知・徳・体に加え、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する力を育むことを目指す教育課程を編成することを理解している。 2. 各教科の全体構造や各学部や段階のつながりを踏まえ、障害の状態等に応じて教育の内容を選定、組織し、時数の配分を行うことや各教科等の指導の形態について理解している。 3. 各教科等の年間指導計画を踏まえ、一人一人に適切な指導を行うために各教科等と自立活動の個別の指導計画を作成することを理解している。 4. 実態を踏まえた指導の形態の選択、個別の指導計画、単元・題材指導計画を踏まえて1単位時間の学習指導案の作成を行うことと。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）を用いて予習をしておく。（30分程度） 生活単元学習の指導例についてWeb上で検索し、取り組みたい活動例等を確認しておく。 生活単元学習の指導案を作成できるよう指導案の例を検索しておく。
授業時間外学習【復習】	特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）を用いて復習をする。（1時間分程度） 知的障害のある子どもに対する教育を行う特別支援学校の各教科の内容を確認しておく。 生活単元学習の指導例についてWeb上で検索し、取り組みたい活動例等を確認しておく。
課題に対する フィードバック	小テストを行い、授業の中で解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) ペアやグループワーク参加への積極性、小テスト、提出物等（30%） 2) 定期テスト（70%）
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリントを配布する。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子供の教育支援の手引 文部科学省（2022）
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。